



(お知らせ)

平成26年10月24日

海賊対処のために派遣された水上部隊の活動状況について (差替え)
(平成26年1月)

1 直接護衛

- (1) 護衛回数 9回 (第526回護衛～第534回護衛)
(海賊対処法に基づく第485回護衛～第493回護衛)
- (2) 護衛隻数 29隻 (海賊対処法に基づく護衛開始以来の累計3,218隻、以下同)

内訳

- 日本籍船 0隻 (累計15隻)
- 我が国運航事業者が運航する外国籍船 7隻 (累計593隻)
(そのうち、日本人が乗船する外国籍船 0隻 (累計36隻))
- その他の外国籍船 22隻 (累計2,610隻)
(そのうち、日本人が乗船する外国籍船 0隻 (累計16隻))

※なお、上記には、海上警備行動に基づく護衛 (第1回～第41回) の実績は含まれていない。

- (3) 各回の護衛実績の詳細については別紙参照のこと。

2 ゾーンディフェンス

- (1) 実施日数 20日 (累計 38日)
- (2) 確認した商船数 約740隻 (累計 約1,550隻)

3 事案への対処等を行った事例

(「海賊対処のために派遣されたP-3C哨戒機の活動状況について (平成26年1月)」の2と同一事例)

1月18日、商船が海賊から攻撃を受けているとの情報を受け、護衛活動中の護衛艦「さみだれ」が搭載ヘリを発艦。当該商船の安全を確認した後、不審なダウ船及び曳航されているスキフを確認。当該ヘリはCTF151司令部に情報提供を行った後、元の任務に復帰した。

引き続き、アデン湾を警戒監視中のP-3Cが当該ダウ船を確認し、CTF151司令部に情報提供を行った。仏艦艇がヘリを発艦して対応を開始したため、P-3C

は当該仏艦艇に対応を引き継ぎ、警戒監視任務に復帰した。

その後、当該仏艦艇が当該ダウ船に対して立入検査を実施。海賊5名の身柄を拘束し、当該ダウ船の乗員を解放した。

【写真】



海賊対処のために派遣された水上部隊の護衛実績について(平成26年1月)

(別紙)

(護衛艦「さみだれ」、「さざなみ」)

護衛回数 (海賊対処行動での回数)	526回 (485回)	527回 (486回)	528回 (487回)	529回 (488回)	530回 (489回)	531回 (490回)	532回 (491回)	533回 (492回)	534回 (493回)		(合計)
護衛日時											/
開始	1月6日午前	1月11日午後	1月13日午後	1月15日午後	1月17日午後	1月23日午後	1月25日午後	1月27日午後	1月29日午後		
終了	1月7日午後	1月13日午後	1月15日午後	1月17日午後	1月19日午後	1月25日午後	1月27日午前	1月29日午後	1月31日午後		
護衛対象船舶数(合計)	3	3	2	3	7	5	1	3	2		29
日本籍船	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
(タンカー)											
(コンテナ船)											
(LPG船)											
(LNG船)											
(一般貨物船)											
(専用貨物船)											
(自動車専用船)											
(旅客船)											
我が国運航事業者が 運航する外国籍船	1	0	1	1	2	2	0	0	0		7
(タンカー)	(1)			(1)	(2)						(4)
(コンテナ船)						(1)					(1)
(LPG船)											
(LNG船)											
(一般貨物船)			(1)								(1)
(専用貨物船)						(1)					(1)
(自動車専用船)											
(旅客船)											
その他の外国籍船	2	3	1	2	5	3	1	3	2		22
(タンカー)			(1)	(1)	(2)	(2)	(1)	(2)			(9)
(コンテナ船)											
(LPG船)		(2)		(1)	(1)				(1)		(5)
(LNG船)											
(一般貨物船)	(2)	(1)			(2)	(1)		(1)	(1)		(8)
(専用貨物船)											
(自動車専用船)											
(旅客船)											

※1 護衛開始及び終了の日は、日本時間。

※2 表中()内の計数は、各回の護衛対象船舶における日本籍船数、我が国運航事業者が運航する外国籍船数及びその他の外国籍船数の内訳。